

第4回日中韓標準化情報交換会合が開催される

日本、中国及び韓国の標準化機関による4回目の会合が、去る7月5日、韓国・ソウル市Lotte Hotelにおいて開催された。本会合は、情報通信分野の一層の発展に向けて、通信標準化に関し、日中韓三国間の協力をより積極的に行うことなどを目的として開催され、中国のCCSA (China Communication Standards Association)、韓国のTTA(Telecommunications Technology Association)、及び日本のTTCとARIBを含め、25名が参加した。

議長はTTAの事務局長・Hong Koo Kim氏が担当し、審議を行った。各標準化機関からは、標準化を中心とした活動状況の紹介や今後の具体的な協力関係など議論が活発に行われた。ARIBからは、若尾専務理事、佐藤理事を含め4名が参加した。本会合では、通信標準化における三国間の協力の重要性を確認し、今後の協力活動等をより一層促進するための審議が行われた。また、本標準化機関の下に作業班として設立されていたB3G (Beyond 3G)の活動計画の報告などがあった。さらに、本会合では新たな作業班の設立を検討していたNGN (Next Generation Networks) の準備状況と所掌事項に関する報告があり、設立が承認され、今後は具体的な活動を行うことになった。

また、本会合が終了した7月6日に、B3G並びにNGNに関する作業班の会議が開催された。詳細については：<http://www.tta.or.kr>を参照して下さい。



第4回日中韓標準化情報交換会合 (CJK) の総会の様子 (その1)



日中韓標準化機関の主席代表 総会の様子（その2）

「移動体識別システム（UHF帯電子タグシステム）  
の技術的条件」の審議開始  
（情報通信審議会での審議開始）

総務省は6月30日、情報通信審議会情報通信技術分科会（分科会長：齊藤忠夫 東京大学名誉教授）に、「移動体識別システム（UHF帯電子タグシステム）の技術的条件」についての審議開始を報告しました。審議内容等は以下のとおりです。

### 1 審議開始の背景

小電力の無線システムである移動体識別システム（電子タグシステム）については、我が国では現在、欧米と共通の周波数帯である135kHz帯、13.56MHz帯及び2.45GHz帯が使用可能であり、それぞれの周波数帯の特性に応じて、物品の管理、物流の管理やトレーサビリティの高度化、セキュリティ管理等様々な用途で利用が進展しています。

今後ユビキタスネットワーク社会の構築が進展していく中で、電子タグシステムは、重要な役割を果たす基盤的ツールとして、生産、物流、販売、食品管理、医療・薬品管理、金融、道路・交通、環境、教育など幅広い分野において、ネットワークと接続されて高度に利活用されていくことが期待されています。電子タグシステムに使用する周波数についても、これまで使用可能となっている周波数帯に加えて、比較的長距離の通信（～10m程度）が可能で新たな利活用へと繋がる可能性のあるUHF帯の利用への期待が高まっているところです。

そこで、UHF帯の電子タグシステムの技術的条件について審議を行うものです。

### 2 審議内容

「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち「移動体識

別システム（UHF帯電子タグシステム）の技術的条件」

3 審議体制

既存の小電力無線システム委員会（中川正雄主査）において審議を行います。

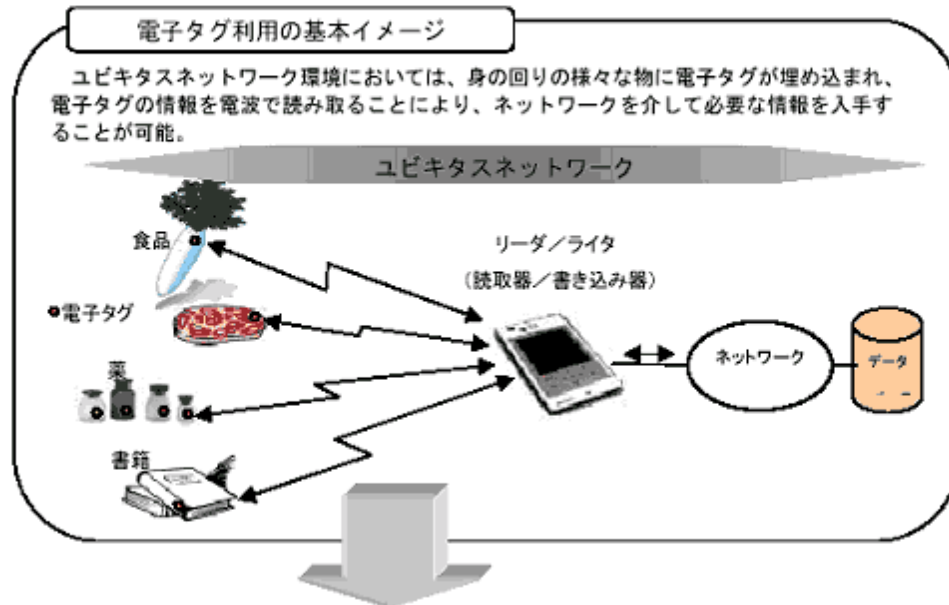
4 答申を希望する時期

平成16年内

5 答申が得られたときの行政上の措置

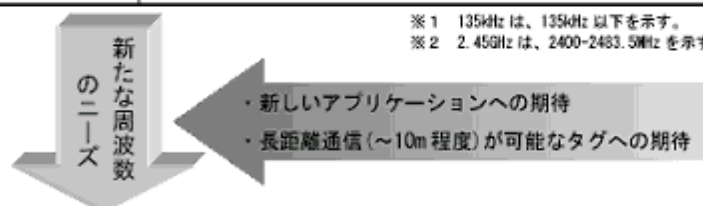
関係省令、周波数割当計画等の改正に資することとします。

## 「移動体識別システム(UHF帯電子タグシステム)の技術的条件」の審議開始について



既に制度化されている電子タグの周波数		
周波数	主な利用用途	備 考
135kHz <sup>※1</sup>	○スキーゲート ○自動倉庫 ○食堂精算 等	電波の出力が微弱なシステムであり、特段の手続なく運用可能
13.56MHz	○交通系カードシステム ○行政カードシステム ○ICカード公衆電話 ○入退室管理システム 等	平成10年 制度化 平成14年 出力の緩和、手続の簡素化
2.45GHz <sup>※2</sup>	○物流管理 ○製造物履歴管理 ○物品管理 ○車両管理 ○青果物流通管理 等	昭和61年 制度化 平成4年 免許不要の小電力システムの導入 平成14年 小電力システムへの周波数ホッピング方式の導入 平成15年 構内無線局への周波数ホッピング方式の導入

※1 135kHzは、135kHz以下を示す。  
 ※2 2.45GHzは、2400-2463.5MHzを示す。



今回の審議事項 … UHF帯電子タグシステムの技術的条件

なお、詳細については：[http://www.soumu.go.jp/s-news/2004/040630\\_6.html](http://www.soumu.go.jp/s-news/2004/040630_6.html)を参照して下さい。

欧州電波産業の動き

2004年仏携帯端末出荷、1280万台  
 【Les Echos,2004/06/22】

GfK（マーケティング会社）の調査によると、仏の2004年の携帯電話端末出荷台数が前年比で14%増の1280万台になると予想される。GfKは「年初は好調で、また73%がカラー液晶搭載機である」としている。1～4月の結果を見ると、20%の端末がカメラ機能を搭載しており、39%がMMS（マルチメディア・メッセージ・サービス）機能付きである。また2004年通年で450万～500万台のデジカメ付き端末が出荷されると予想され、これは本来のデジタルカメラ市場を越えるものである。一方、デジカメ機能搭載端末では50%になる。

**SFR、加入者数1440万人弱**  
【Les Echos,2004/06/29】

仏携帯電話業界筋の情報によると、SFRの2004年3月末時点の仏本土における加入者数が1437万人となった。2003年末より8万8000人増加したことになる。また、第1四半期の全事業者の新規加入者は24万2700人で、SFRはその36.2%を占めた。一方、オレンジは海外県を含めると第1四半期に4万2000人の新規加入者を集め、これは仏全体の新規加入者の16%に相当する。また、ブイグ・テレコムは新規加入者の48%を占めた。

## 編集後記

先月、旧友と湯河原へ温泉に浸かりに（？）いや酒をしこたま飲みに行きましたが、夜、近くにホタルがいるとのことで、川べりをほろ酔い気分で散策していましたが、久しぶりにホタルをみました。静かに流れる川辺に数え切れないほどのホタルが飛んでいました。辺りは街灯がここだけは少なく、ホタルから放たれる光がとてもキレイに映りました。

さて関東と関西でホタルの発光回数が違うのをご存知ですか（？）関東では4秒に1回、関西では2秒に1回光を放つそうです（種類によるそですが）。我々関東人が“せっかち”かと思ったら、関西ホタルもどうやら関東人よりせっかちのようですね。

ところで、ARIB NEWS No. 451の編集後記の記述に「愛宕山は東京23区内で一番高い山」とありましたが、「山の定義が定かではありませんが、東京23区内で一番標高の高い所は、新宿区戸山公園内の箱根山（44.6m）です。」とのご指摘がありました。新宿区の竹田様ありがとうございました。

今後共、ご愛読のほど宜しくお願い致します。

（編集子：SUM）